

田賀屋狂言会

備前刀ゆかりの狂言を観る会

2017年

11
月
17日
(金)

岡山
後楽園
能舞台

狂言

磁石 長光
じしやく ながみつ

田賀屋狂言会

～ 備前刀ゆかりの狂言を観る会 ～

これまで、刀剣の愛好者はもっぱら男子で、しかもごく限られた人達の趣味でした。
ところが近年、“刀剣女子”という女性群が現れ、
美術館・博物館の展覧会は賑わっているようです。
もちろん当地岡山は、備前長船刀の聖地。
一方、伝統芸能・狂言に刀剣を題材にしたものがないはずがありません。
そこで、今回の田賀屋狂言会は、刀剣をテーマの特別企画狂言会といたしました。
備前長船刀剣博物館の学芸員の方からの刀剣のお話もあります。

11月17日 (金) 18:00 開演 後楽園能舞台

お話 田賀屋夙生
備前長船刀剣博物館学芸員

ながみつ
長光 すつば 田賀屋夙生
道通りの者 島田洋海
仲裁人 山下守之

刀剣の国宝指定第一号はこの備前刀・長光です。その鋭い切れ味、刀身の美しさから戦国の武将、信玄や信長などから殊の外愛玩されました。狂言の詞章では、「(なかほど) から切っ先にかけては、霜月師走の頃、碓氷の上に薄霜を降りかかった如く身の毛のよだつような…」と刀の強靱、鋭利かつしなやかな美しさを表現しています。


じしゃく
磁石 すつば 茂山七五三
見付の宿の者 茂山宗彦
宿屋の亭主 田賀屋夙生

登場人物が語る名前が磁石で、そのまま狂言の題名になっています。騙された男が太刀を持って追いかけていくと、自分は磁石の精だと名乗って、アァーと太刀に近づきます。なおも太刀で攻めかけるとまた、アァーと近づき、太刀がドミドミと波打つ躰です。ついには太刀を飲み込もうとしますが、鞘の中に納めてしまえば飲み込むことはできません。

鑑賞料(後楽園入園券付き) 全席自由席		
	一般	学生
前売券	2,000円	1,000円
当日券	2,500円	

チケット販売窓口
田賀屋狂言会事務局 TEL.086-255-4101
(広坂方)
チケットぴあ TEL.0570-02-9999
※後楽園入園券は付きません (Pコード:481-089)

※配役は都合により変更する場合がございます。

主催 田賀屋狂言会
共催 岡山市 岡山市芸術祭実行委員会
(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団 後楽園魅力向上委員会
助成  公益財団法人 福武教育文化振興財団
公益財団法人 日本教育公務員弘済会岡山支部

後援 岡山県 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 山陽新聞社
岡山リビング新聞社 RSK山陽放送 OHK岡山放送
瀬戸内市 瀬戸内市教育委員会 備前長船刀剣博物館